２０１８年２月開催

実証実験「ちびヒロ×まちなかシネマ」

報告書

１－１．目的 1
１－２．検討経緯 1
２－１．実施体制 4
２－２．実施日時 4
２－３．広報計画 4
２－４．実施場所 5
２－５．配置図 5
３－１．内容 6
３－２．連携体制 7
３－３．効果検証調査の内容 7
４－１．実施結果（利用者数） 8
４－２．実施結果（利用者アンケート） 8
４－３．実施結果（当日の様子） 11
５－１．効果検証及び今後の対応 12

2018 年 3 月

町田市

経済観光部産業観光課

１－１．目的

2018 年 2 月の実証実験では、以下の４点が実施目的となる。

1　町田ターミナルプラザを中心とした原町田 3 丁目周辺地域活性化への寄与。

2　公共空間に子ども連れや買物客が休憩できる空間を設置することで、中心市街地にどのような効果があるか検証する。特に今回は、過去 2 回の実験を受け 2018 年度に計画している「ちびヒロ」、「まちなかシネマ」の継続的な実施に向けて、以下 3 点を検証する。

（1）市民広場での「ちびヒロ」常設化に向けた運営体制の検証

（2）冬季開催時の防寒対策の検証

（3）市民広場での「まちなかシネマ」昼間開催が可能かの検証

➡まちづくり計画プロジェクト２「個性と魅力あふれる商店街づくり」

3　既存施設やスペースを活用して、まちなかでアート・カルチャーに日常的にふれあう機会を増やす。

➡まちづくり計画プロジェクト９「町田発アート・カルチャーを楽しむ」

4　上記取り組みを継続的に行うため、さまざまな団体と連携し担い手を育成していく。

１－２．検討経緯

「町田市中心市街地まちづくり計画」（2016 年 7 月策定）

●プロジェクト２　個性と魅力あふれる商店街づくり

～幅広い人たちにまちなかで長い時間を過ごしてもらうために、商店街が持つ個性や魅力の維持・向上を図り、「町田らしい商店街」をつくります～

●プロジェクト９　町田発アート・カルチャーを楽しむ

～多様な楽しさや感動を味わえるように、新たな取り組み、文化芸術拠点の整備等を行い、町田発のアート・カルチャーを楽しめるまちにします～

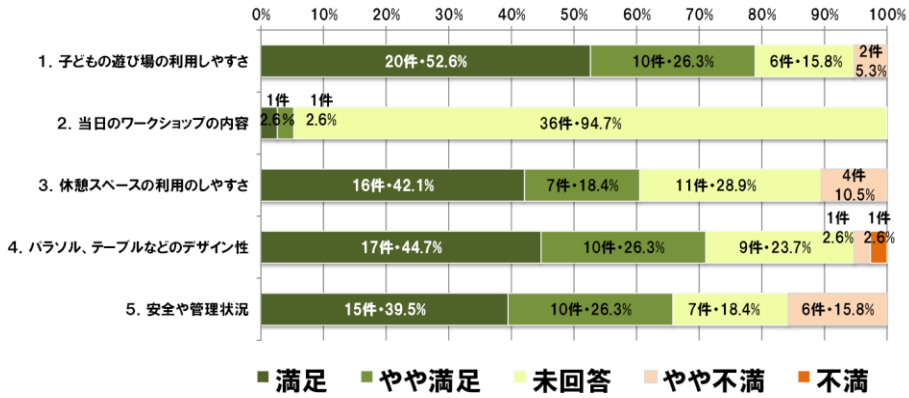
【まちづくり計画を受けたこれまでの実証実験等の検討】

●2017 年 3 月　町田駅周辺の歩きたいまちづくり実証実験「ちびヒロ」

2016 年 11 月～12 月に「町田駅周辺の「歩きたい」まちづくり検討会ワークショップ」を市民・中心市街地活性化協議会メンバーと計 3 回開催。このワークショップでの検討を基に、2017 年 3 月に、町田駅周辺の歩きたいまちづくり実証実験「ちびヒロ」（子どもが遊べる芝生広場）を、道路空間を活用して 4 日間開催。

・利用者数計 327 人（4 日間のうち、3 日間利用者集計）

・利用者アンケートから、満足度が高いことが分かった



利用者アンケート調査結果（38 件のヒアリングアンケート調査より）

●2017 月 7 月　「ちびヒロ×まちなかシネマ」

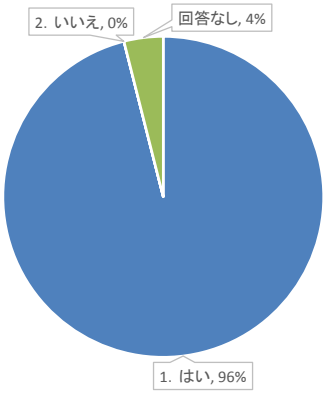
2017 年 7 月に、市民広場でのターミナルプラザ活性化を目的とした七夕イベントに合わせ「ちびヒロ」（子どもが遊べる芝生広場）を 4 日間、「まちなかシネマ」（無料映画上映会）を 1 回開催。

・「ちびヒロ」の利用者数は 1,000 人（4 日間利用者数集計）

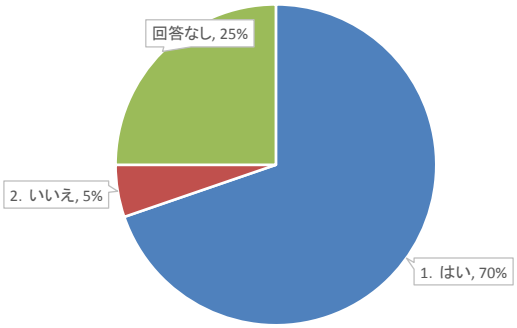
・「まちなかシネマ」利用者数は 168 人

・利用者アンケート、近隣店舗アンケート（ターミナルエイト、ミーナ等）共に、今後の開催を希望する声が多かった。

【ちびヒロ】また利用したいですか？



【まちなかシネマ】また利用したいですか？



利用者アンケート調査結果（76 件のヒアリングアンケート調査より）

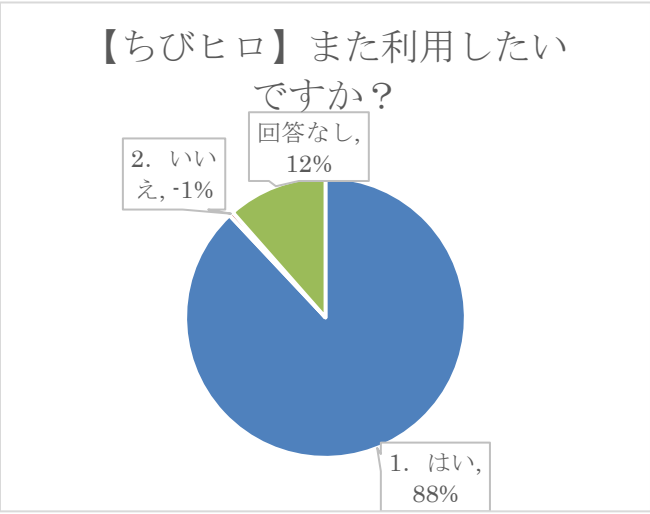
●2017 月 10 月　「ちびヒロ×まちなかシネマ」

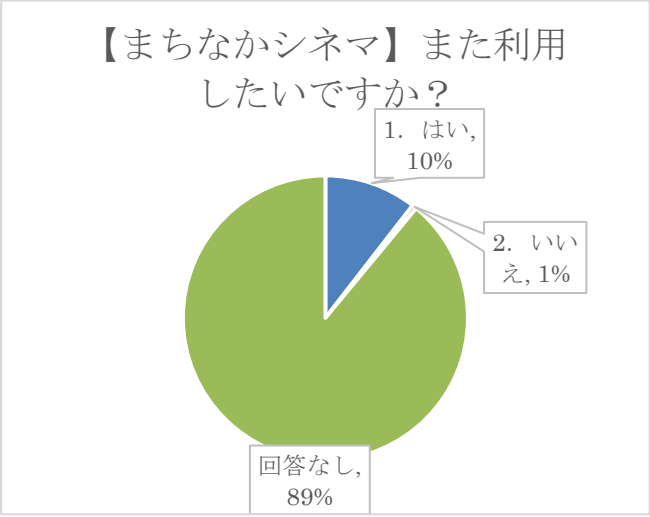
2017 年 10 月に、市民広場での長期的な開催の効果検証のため「ちびヒロ」（子どもが遊べる芝生広場）を 1 か月間（平日のみ）、「まちなかシネマ」（無料映画上映会）を 2 回開催。

・ちびヒロ開催２１日間の推計利用者数　　3,192 人（1 日あたり 152 人）

・シネマ開催 1 回平均利用者数　166 人

・利用者アンケート、近隣店舗アンケート（ターミナルエイト、ミーナ等）共に、今後の開催を希望する声が多かった。





利用者アンケート調査結果（200 件のヒアリングアンケート調査より）

２－１．実施体制

実施体制は以下のとおりとする。

主催：町田市（経済観光部産業観光課）
後援：町田市中心市街地活性化協議会

２－２．実施日時

当実証実験は、以下の日時に実施する。

ちびヒロ：2018 年 2 月 5 日（月）～28 日（水）/午前 10 時～午後 5 時
まちなかシネマ：2018 年 2 月 9 日（金）
1 回目：午前 10 時～午前 12 時「SING シング」
2 回目：午後 3 時～午後 5 時　「SING シング」
3 回目：午後 7 時～午後 9 時　「アニー」

２－３．広報

当実証実験の主な広報計画は下記である。

- 広報まちだ 2 月 1 日号・市ＨＰ掲載、ＦＡＸプレスリリース（1 月 18 日）
- 「情報発信に関する 4 者協定」を活用したＰＲ
  （小田急電鉄子育てサイト、kurukuru まちだサイト他）
- ＳＮＳを活用したＰＲ
  （町田市中心市街地活性化協議会フェイスブック、観光コンベンション協会フェイスブック・ツイッター他）
- 市子育て関連施設でのチラシ 1000 枚配布（子どもセンター、保育園、幼稚園他）

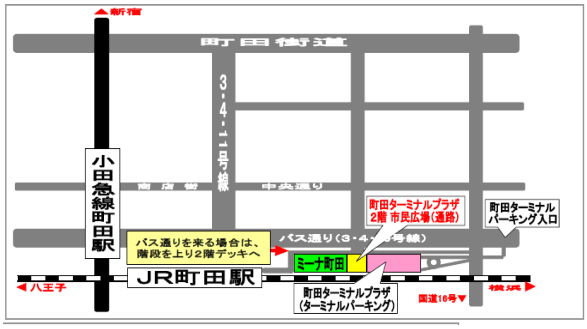
➡プレスリリース・関係者への声掛けにより、その他下記媒体での広報を実施できた。

- 1/23 読売新聞掲載、1/30 朝日新聞掲載
- 2/14 ジェイコム　デイリーニュース放映
- パリオＦＢ、ミーナＨＰ掲載
- サンケイリビングＷＥＢ版 2/1 号、ショッパー2/23 号掲載
- 町田経済新聞ＳＮＳ、変わりゆく町田ＷＥＢ掲載

２－４．実施場所

当実証実験の実施場所は、下記の理由から町田ターミナルプラザ市民広場とする。
・町田ターミナルプラザを中心とした原町田３丁目周辺地域活性化への寄与
・屋根付き広場のため雨天時でも開催できること

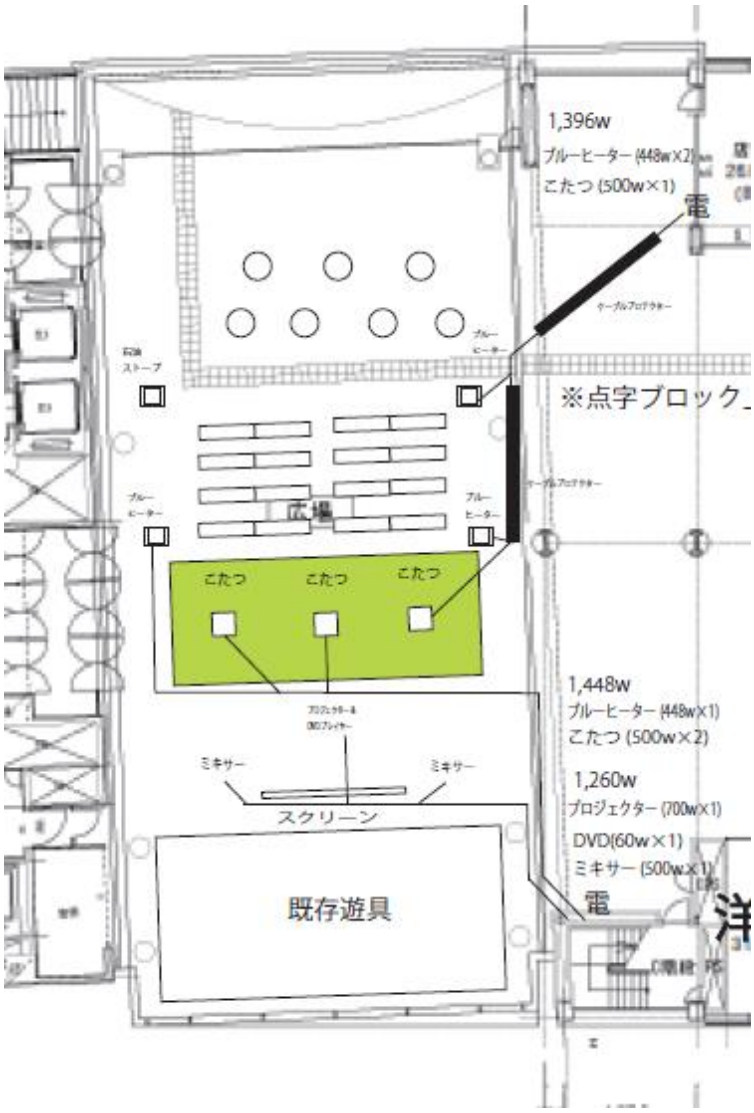
町田ターミナルプラザ市民広場
（原町田３丁目１番４号
町田ターミナルプラザ２階）
✧　**JR町田駅（ターミナル口）より　徒歩2分**
✧　**小田急町田駅より　徒歩8分**



２－５．配置図

当実証実験の配置図は、以下のとおり。

配置図



準備物

【芝生広場】
人工芝
芝生下アルミ防寒シート※新規購入
サイドガード
遊具
テーブルセット※広場備品
立て看板
カタログスタンド
清掃用具（嘔吐対策）※新規購入
アンケート収集箱、筆記用具

【映画上映】
映像コンテンツ
プロジェクター※新規購入
200 インチスクリーン
100 インチスクリーン※システム課
ＤＶＤプレーヤー※システム課
ミキサー※広場備品
スピーカー※広場備品
ベンチ※広場備品
ストーブ４台※レンタル
こたつ３台※レンタル

３－１．内容

●ちびヒロ

町田駅周辺エリアに訪れる来街者の中でも、子ども（乳幼児）連れファミリーを対象に、乳幼児が裸足で遊べる芝生広場と遊具を設置。また、買い物客や高齢者などが自由に休憩できるテーブルとイスを設置。

・防寒対策として、芝生下全面に断熱アルミシートを敷設
・乳幼児の安全対策として、ちびヒロエリアへ小学生以上は入場出来ない旨を掲示
・嘔吐等の清掃用に、芝は１ロールを予備として保管
・広場イベントがないときは、土日もちびヒロ開催（おもちゃは平日のみ使用可能）

７月開催時の様子

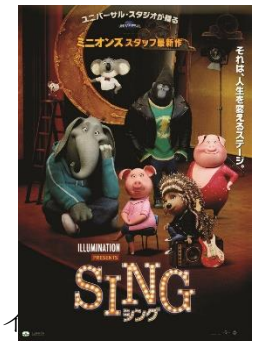
●まちなかシネマ

大型スクリーンで、映画館に行く機会の少ない子ども（幼児、学童）連れファミリーを対象に映画の無料上映。上映作品は子どもと大人が一緒に楽しめるコンテンツを選定。

・防寒対策として、コタツ３台とストーブ４台を設置
・乳幼児連れの方も参加しやすいように午前 10 時、午後３時、午後７時の３回上映

７月開催時の様子

「SING シング」
（2016 年製作、108 分）



「ミニオンズ」など手がけるイルミネーション・スタジオによる長編アニメーション。取り壊し寸前の劇場の再起を賭け、世界最高の歌のオーディションの開催を企画する。

「アニー」
（2014 年製作、118 分）

トニー賞７部門を受賞したブロードウェイ・ミュージカルを映画化。
現代のニューヨークを舞台に、両親との再会を夢見る少女アニーの姿を描く。

３－２．連携体制

●町田市中心市街地活性化協議会

・「ちびヒロ×まちなかシネマ」後援

・広報部会ＳＮＳにて「ちびヒロ×まちなかシネマ」開催告知

➡（今後の展望）

各商店街主催イベントでの「ちびヒロ」実施による、中心市街地まちづくり計画プロジェクト２「個性と魅力あふれる商店街づくり」への気運醸成

●町田ターミナルプラザ管理事務所（株式会社東急コミュニティ）

・実証実験期間中の什器管理、清掃等

➡（今後の展望）

市民広場での「ちびヒロ」継続的な実施への協力

●周辺施設（ミーナ、ターミナルパーキング）

・ポスター掲示協力

➡（今後の展望）

連携した企画の実施、周辺店舗への波及効果

３－３．効果検証調査の内容

当実証実験では、以下の効果検証調査を実施する。

区分	検証目的
利用者数カウント （まちなかシネマ開催時）	・調査員の目視にて利用者数カウント
利用者アンケート	・投書箱を設置し、運営などについて意見募集
町田ターミナルプラザ管理事務所へのヒアリング	・期間中の運営について、問題等をヒアリング

４－１. 実施結果（利用者数）

期間中の利用者数は、以下のとおり。
※今回は「ちびヒロ」は利用者数カウントなし。

まちなかシネマ　利用者数

区分	10:00～12:00	15:00～17:00	19:00～21:00	合計
2 月 9 日	52	91	54	**197 人**

※シネマ開催１回平均利用者数　66 人

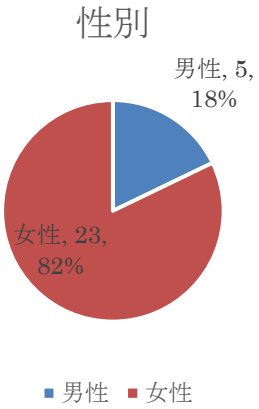
４－２. 実施結果（利用者アンケート）

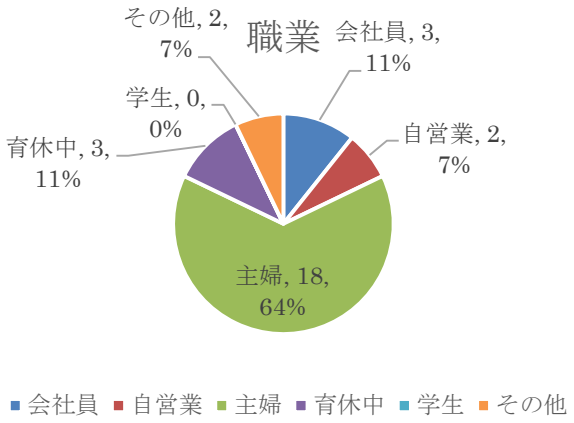
利用者アンケートの結果は、以下のとおり。

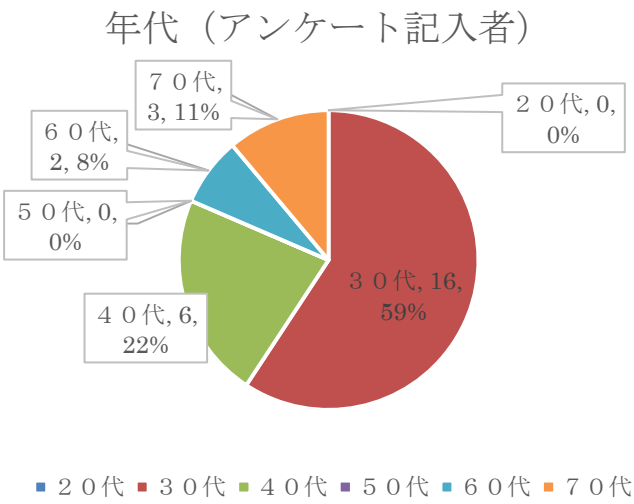
アンケート収集方法（回収数計 31 通）

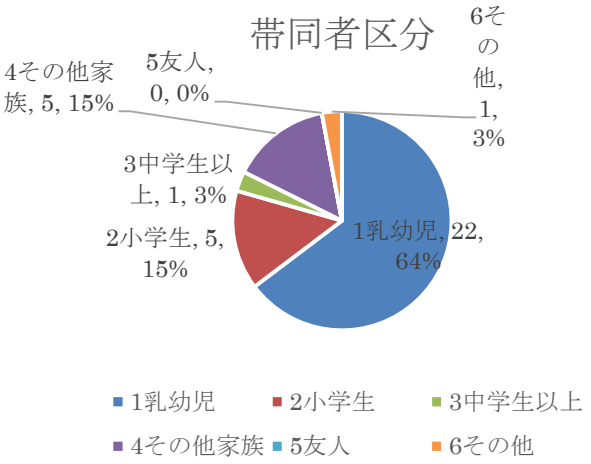
・2/9 シネマ上映後、調査員による聞き取り調査（19 通）
・ちびヒロ期間中、現場にアンケート記入スペースと投書箱を設置して回収（12 通）

回答者の属性

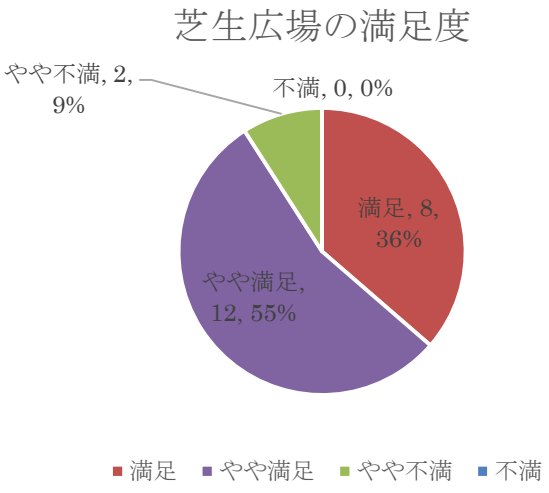


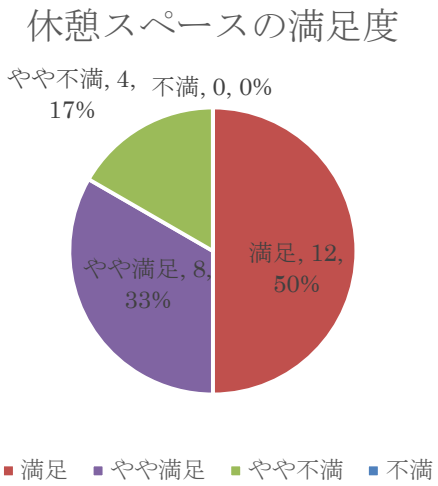


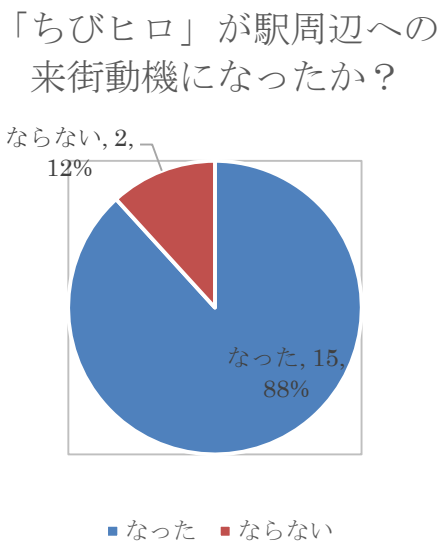




「ちびヒロ」満足度



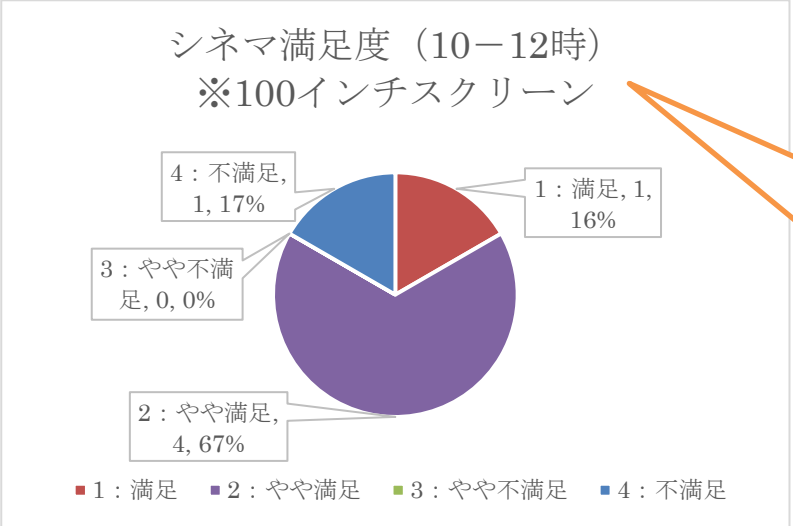




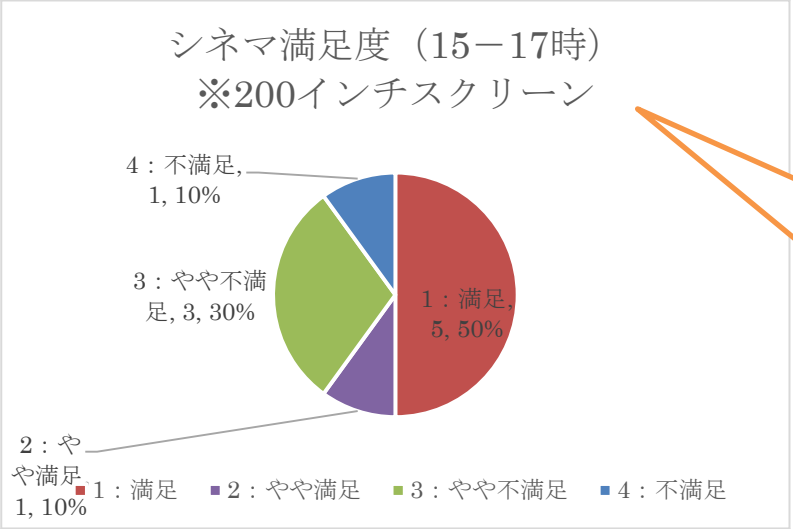
●主なご意見

ミュージックパークに来たが子どもとの共存が良かった
町田駅周辺は子どもを遊ばせるところがなく、買い物に来づらいので、こうゆうのをずっとやってくださると来やすい。継続してほしい。
定期的、常設してほしい。冬は室内にあればより使いやすそう
もともとある遊具と芝生広場を近づけてほしい。靴を履かず行き来して困る。
この時期の屋外はとても寒くて遊べません

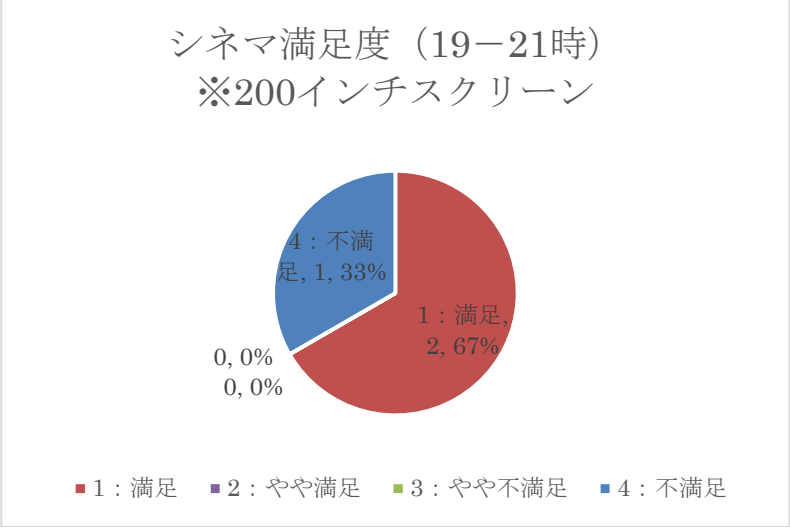
シネマ（開催時間別）満足度



アンケート回答者の 5/6 が画面について「少し見づらい」という意見だった。



アンケート回答者の 8/12 が画面について「少し見づらい」という意見だった。
特に 15-16 時が西日の影響があったと思われる。

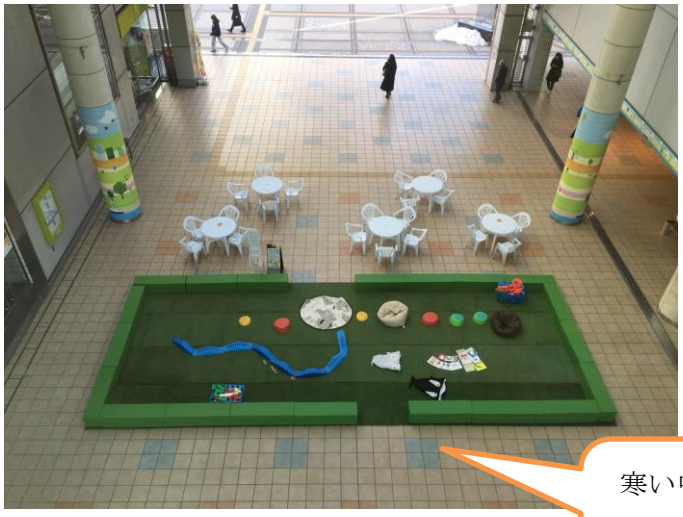


●主なご意見

こたつは暖かったです
飲食スペースはすごく寒かった
幅広い年代が楽しめてよかった
土日がいいかも

４－３.実施結果（当日の様子）

●ちびヒロ



寒い中でもコンスタントに利用者がいた。特に今回初めて開催した土日の利用者が多かった。

●まちなかシネマ

コタツやストーブで暖まりながら映画鑑賞をする利用者

午前 10 時～の上映回
100 インチスクリーン

午後 3 時～の上映回
200 インチスクリーンに、小さ目に投影（映像が見える限界の大きさ）

午後 7 時～の上映回
200 インチスクリーン

５－１.効果検証及び今後の対応

（１）市民広場での「ちびヒロ」常設化に向けた運営体制の検証

〈検証結果〉

●町田ターミナルプラザ管理事務所（期間中の什器管理、清掃等を実施）から

・期間中、安全管理と清掃について大きな問題はなかった

・乳幼児エリアに小学生の利用が見られた→課題①

・おもちゃ・看板の毎日運搬が大変だった→課題②

●利用者アンケートから

・安全、清潔さについては、概ね好評であった

・利用者帯同者の 6 割以上が乳幼児であり、ちびヒロを乳幼児エリア専用にすることは問題ないと考えられる

〈今後の対応〉

課題①

・乳幼児エリアに小学生以上は入場できない旨の掲示を増やす

課題②

・おもちゃの運搬の負担を軽減する対策（荷台付台車の購入等）を検討する

・その他看板等についても、毎日片づけずその場に常設する等管理負担軽減策を検討する

（２）冬季開催時の防寒対策の検証

〈検証結果〉

●シネマ利用者数

・上映 1 回平均利用者は 66 人であり、7 月（168 人）、10 月（166 人）開催時よりも少なかった

●利用者アンケートから

・「ちびヒロ」、「まちなかシネマ」利用者ともに寒いという意見が多かった→課題③

・「まちなかシネマ」開催時の防寒対策（コタツ、ストーブ）については好評であったが、数が少ないという声が多かった→課題④

〈今後の対応〉

課題③

・「ちびヒロ」芝生下の断熱シートを再検討する

課題④

・「まちなかシネマ」開催時の暖房器具を再検討する（ホットカーペットなど大人数で暖まれる器具の検討、そのための電源の確保）

（３）市民広場での「まちなかシネマ」昼間開催が可能かの検証

〈検証結果〉

●シネマ利用者数

・利用者数の多かった回は、15 時～、10 時～、19 時～の順番であった
●利用者アンケートから
・10 時～、15 時～の上映回については、周りが明るくて画面が見えないという意見が多かった→課題⑤
・今後の上映時間については、引き続き昼間開催への要望が多かった

〈今後の対応〉
課題⑤
・背面窓への遮光などで、昼間でもより見やすいような対策を検討する

（４）地域活性化への寄与、まちなかでアート・カルチャーにふれあう機会を増やす
〈検証結果〉
●利用者アンケートから
・「ちびヒロ」、「まちなかシネマ」共に、満足度が高かった
・「ちびヒロが駅周辺への来街動機になったか」という設問に対して、88%がなったと回答した

〈今後の対応〉
・今後の定期開催へ向け、引き続き魅力的なコンテンツを検討する
・集客を周辺店舗へも誘導できるような仕組みを検討する

（５）取り組みを継続的に行うための、さまざまな団体との連携
〈検証結果〉
・近隣店舗、事業者の広報協力（ＨＰ掲載、ポスター掲示、チラシ配布）を得ることができた
・近隣店舗へ連携した企画を打診したが、準備期間不足等を理由に手上げはなかった
→課題⑥

〈今後の対応〉
課題⑥
・今後定期開催に向けて、早い時期から連携打診を行う